

「最近の機械貿易動向(8月)～機械輸出伸び率19ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.10.25

平成30年8月の機械輸出額は4兆2,893億円、対前年同月比7.4%増と、19ヶ月連続でプラスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な15輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が4.7%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.7%増となった。平成30年9月の為替・営業日要因は9.4%の減少寄与要因となっているが、10月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では9月の機械輸出は1.6%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆6,920億円(前年同月比 [以下同じ] 6.6%増、21ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:7兆1,305億円(15.3%増、5ヶ月連続プラス)
- ③ 貿易収支:4,384億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆2,893億円(7.4%増、19ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:2.7%増(再びプラス)
- ② 機械輸入額:2兆940億円(9.8%増、2ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年8月に4.7%の増加要因、9月に9.4%の減少要因、10月に4.6%の増加要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:3.0%増、3ヶ月ぶりプラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:12.3%増、6ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:2.8%増、21ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:8.1%増、3ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:2.8%減、7ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:19.2%増、14ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中15業種がプラス。そのうち6業種が二桁以上の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 鉄道車両(EU、その他地域向け中心、3ヶ月連続上位)、原動力機械(韓国・台湾、その他地域、ASEAN・南アジア向け中心)、船舶(その他地域向け中心)、半導体製造装置(中国、韓国・台湾向け中心)等が大きくプラス
- ② 建設機械(北米向け中心、7ヶ月連続上位)、電気・電子計測器(中国、北米向け中心、5ヶ月連続上位)も好調に輸出が継続
- ③ 通信機械部分品、産業用ロボット、金属加工機械、デジカメ・ビデオ等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、9機種がプラス
- ② そのうち航空機・部品等、携帯電話、白物家電、半導体製造装置の4機種が二桁のプラス

II トピックス

1. 【台湾】パネル価格の低下で液晶大手 AUO の業績が悪化。中国勢の大型投資で過剰供給の懸念も

台湾の液晶パネル大手・友達光電 (AUO) は、2018 年第 2 四半期 (4-6 月期) の純利益が前年同期比 87%減の 12 億台湾 (NT) ドルと大幅減となった。売上高は 11%減の 750 億 NT ドルだった。液晶パネル価格の低下が大きく響いた。同社は、今後は自動車・医療向けなどニッチ市場を開拓し、テレビ向けでは大型やハイエンド向け製品に注力する。AUO 社の技術力は高く評価されており、今後の戦略次第では、生き残りは十分可能と思われる。

液晶分野では、中国勢による大規模な投資競争が起きている。なかでも、京東方科技集団 (BOE) と華星光電 (CSOT) が、大幅な増産を計画している。BOE は、安徽省合肥市で新工場を立ち上げ中であり、さらに武漢市にも 460 億元を投じて「10.5 世代」工場を建設する計画である。CSOT も、液晶パネル生産の 2 工場を立ち上げる。さらに、台湾の鴻海も中国に大型工場を建設する。610 億元を投じ、広州に 10.5 世代の工場を建設する (同社は、米国にも液晶工場を建設中である)。

太陽光パネルで見られたような中国勢の「供給過剰」による、液晶パネル価格の低下が懸念されている。

2. 【トルコ】経済が減速、大幅な通貨安に。

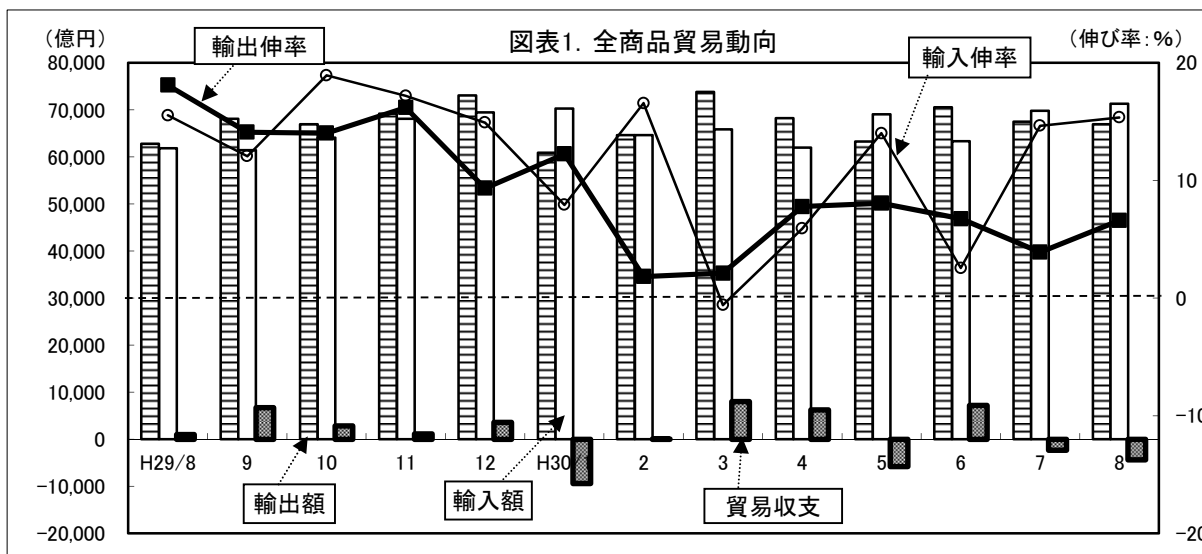
トルコの 2018 年第 2 四半期 (4-6 月期) の経済成長率は 5.2%増となった。第 1 四半期 (7.3%) から大幅に減速した。通貨安と物価高が進行しており、2019 年にはマイナス成長に転じる可能性がある。第 2 四半期の個人消費 (6.3%) は前四半期 (9.3%) から大きく減速し、設備投資も落ち込んでいる。トルコの実体経済は、第 2 四半期に入ってから悪化している。8 月の消費者物価指数は、前年同月比で 17.9%も上昇した。また、8 月の自動車販売は、前年同月比 53%減と大幅な減少となった。

対外債務・経常赤字の増加に対米関係の悪化が重なり、8 月には 1 日で 20%も通貨リラが下落した、いわゆる「トルコショック」が発生した。「トルコショック」に端を発し、アルゼンチン、ブラジル、そしてアジア各国の通貨も大きく下げている。9 月に入り、トルコ中央銀行は金利を 6.25%引き上げ、年 24%とした。これにより、リラはやや安定を取り戻したが、依然として下落圧力にさらされていることに変わりはない。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は21ヶ月連続プラス、輸入も5ヶ月連続プラスへ～

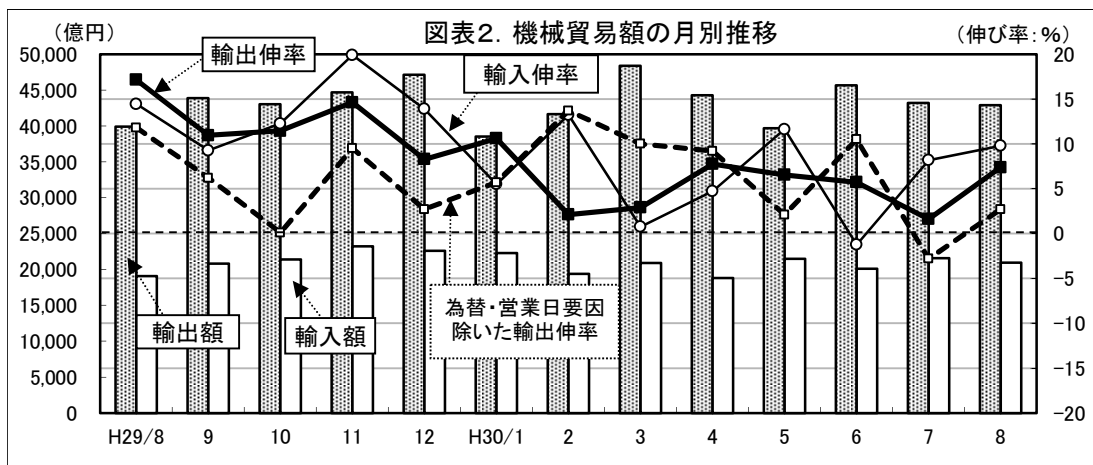
- 1) 平成30年8月の全商品輸出額は**6兆6,920億円**、前年同月比(以下同じ)**6.6%増**と21ヶ月連続でプラスとなった(7月3.9%増)。これは、全輸出額の約22%を占める輸送用機器(8.4%増)をはじめ、約20%を占める一般機械(9.7%増)、約18%の電気機器(5.6%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(10.5%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**7兆1,305億円**、**15.3%増**と5ヶ月連続でプラスとなった(7月14.6%増)。これは、全輸入額の約26%を占める原粗油等鉱物性燃料(46.4%増)をはじめ、約13%の電気機器(7.1%増)、約9%の一般機械(13.0%増)、医薬品等化学製品(5.2%増)等がプラスとなったことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約4,384億円の赤字となった。(7月は2,319億円の赤字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は19ヶ月連続、輸入は2ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約64%を占める8月の機械輸出額は**4兆2,893億円**、**7.4%増**と19ヶ月連続でプラスとなり(7月1.6%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年8月)と比べると**95.1%**となって、前月に比べて9.2ポイント改善した(7月85.9%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は2.7%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約29%を占める機械輸入額は、**2兆940億円**、**9.8%増**と2ヶ月連続でプラスとなり(7月8.2%増)、リーマンショック前(2008年8月)の水準に比べ、35.1%増となっている。

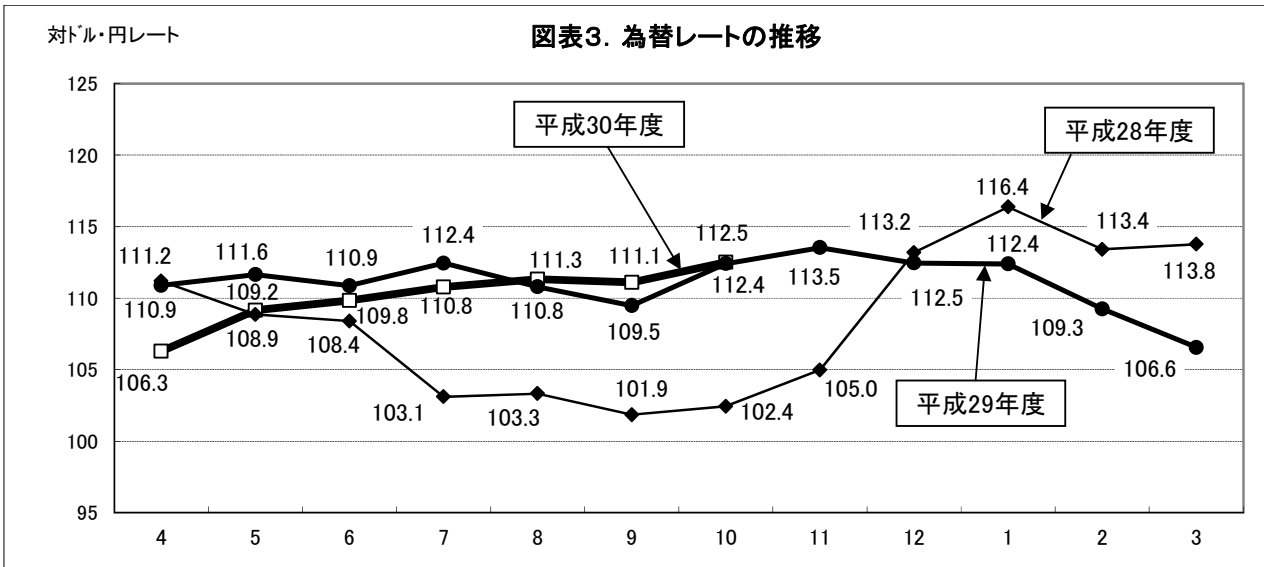


(2) 為替・営業日動向～8月は4.7%の増加要因、9月は9.3%の減少要因～

1) 2018年8月は1ドル=111.3円となり、前年に比べ0.5%の円安となった。また、対ユーロは129.2円と前年に対して0.5%の円高となり、合わせて約0.2%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.5%の増加要因となり、合計で約4.7%の増加要因となる。8月の輸出額は7.4%増であったことから、実質的伸び率は2.7%増と再びプラスとなった(7月2.8%減)。

2) 2018年9月は1ドル=111.1円で前年比1.5%の円安、対ユーロは129.0円で前年比0.9%の円高となり、合わせて約0.7%の為替増加要因となった。営業日は前年に比べて2日少ないため、約10.0%の減少要因となり、合計で約9.4%の減少要因となる。

3) 2018年10月は、対ドルが10月24日17:00時点の112.5円とすれば、0.1%の円安、また、対ユーロは128.6円で3.3%の円高となり、合わせて約0.2%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日多いため、約4.8%の増加要因となり、合計で約4.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の23.7%を占める北米向けでは、全体の約49%を占める自動車(1.5%減)がマイナスとなったものの、軽電気機械(11.2%増)、建設機械(39.3%増)等がプラスとなり、3.0%増となった。②24.0%を占める中国向けでは、産業機械(39.2%増)、自動車(17.7%増)、電子デバイス(3.2%増)等が増加して12.3%増となり、③15.2%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(26.8%増)、ベトナム(16.8%増)、インド(12.8%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(0.4%増)、産業機械(4.2%増)、電子デバイス(21.7%増)等がプラスとなって2.8%増となった。④11.6%を占めるEU向けは、約36%を占める自動車(11.6%増)、産業機械(7.8%増)、建設機械(30.2%増)等がプラスとなって8.1%増となり、⑤9.7%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(2.1%減)、電子デバイス(6.4%減)、自動車(7.5%減)等が減少して2.8%減となった。⑥15.9%のその他地域向けでは、中南米(45.6%増)、ロシア東欧等(24.7%増)向けが大きくプラスとなり、機種では、自動車(8.0%増)、船舶(約2.5倍)等がプラスとなって19.2%増となった。

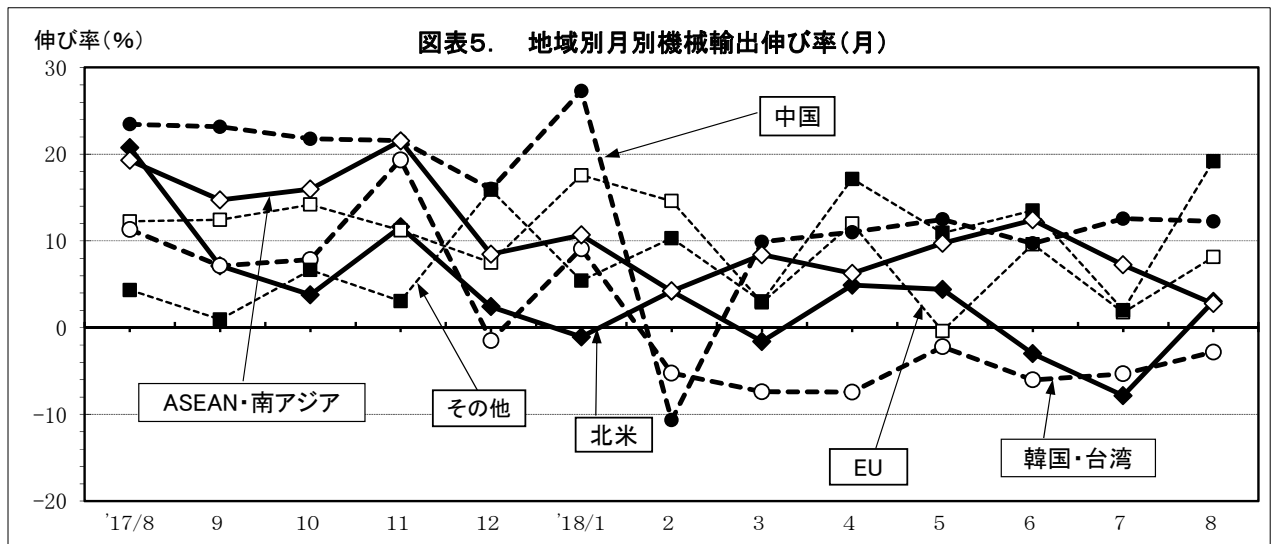
2) また、リーマンショック前の2008年8月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア、北米向けが100%を超え、韓国・台湾向けが90%台、その他地域、EU向けが70%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2018/6			2018/7			2018/8			対08年 7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	45,656	5.7	100.0	43,223	1.6	100.0	42,893	7.4	100.0	0.95
北米	10,691	▲ 3.0	23.4	10,360	▲ 7.8	24.0	10,154	3.0	23.7	1.10
中国	10,370	9.7	22.7	10,213	12.6	23.6	10,293	12.3	24.0	1.16
ASEAN・南アジア	6,839	12.4	15.0	6,696	7.2	15.5	6,505	2.8	15.2	1.11
EU	5,781	9.6	12.7	5,053	1.7	11.7	4,981	8.1	11.6	0.70
韓国・台湾	4,380	▲ 6.0	9.6	4,250	▲ 5.3	9.8	4,149	▲ 2.8	9.7	0.93
その他	7,595	13.5	16.6	6,652	2.0	15.4	6,810	19.2	15.9	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

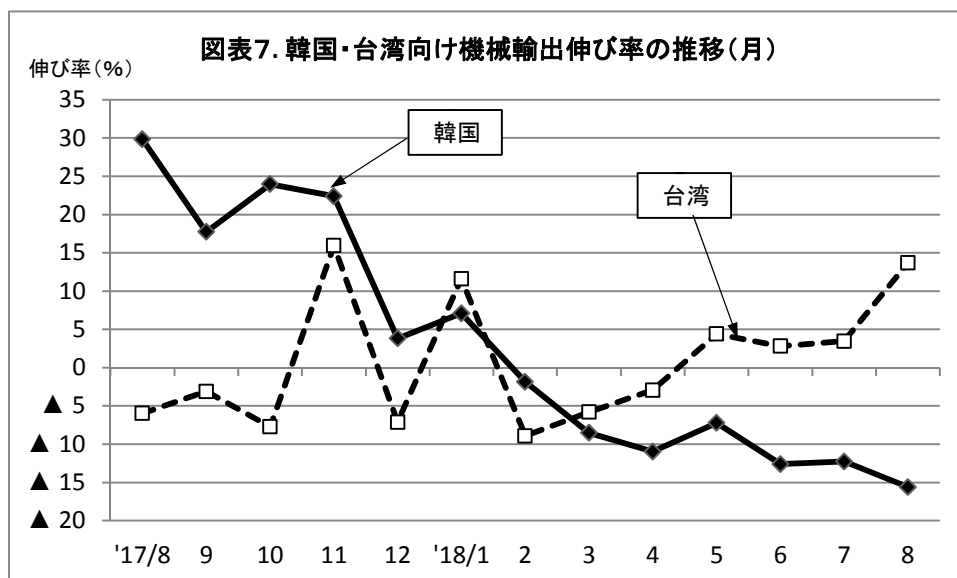


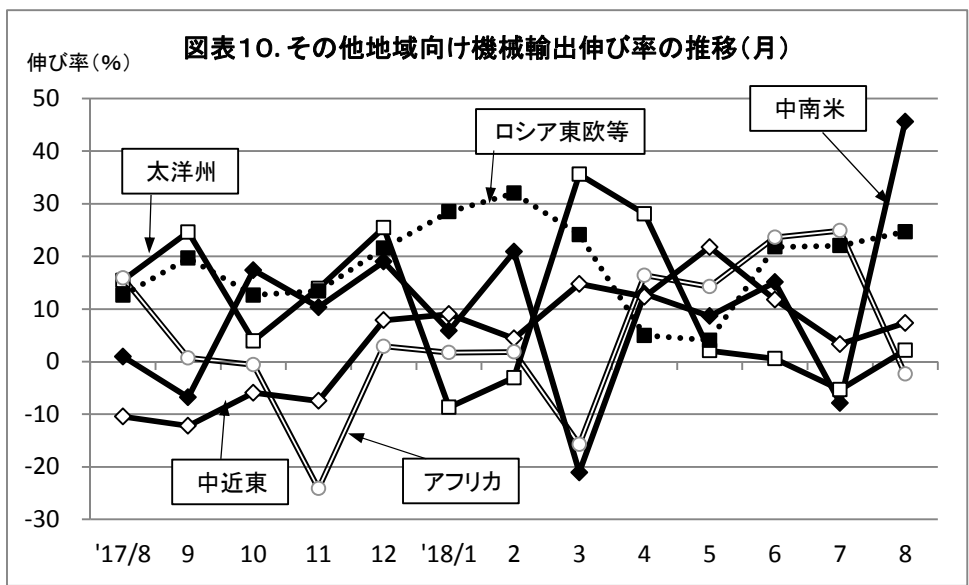
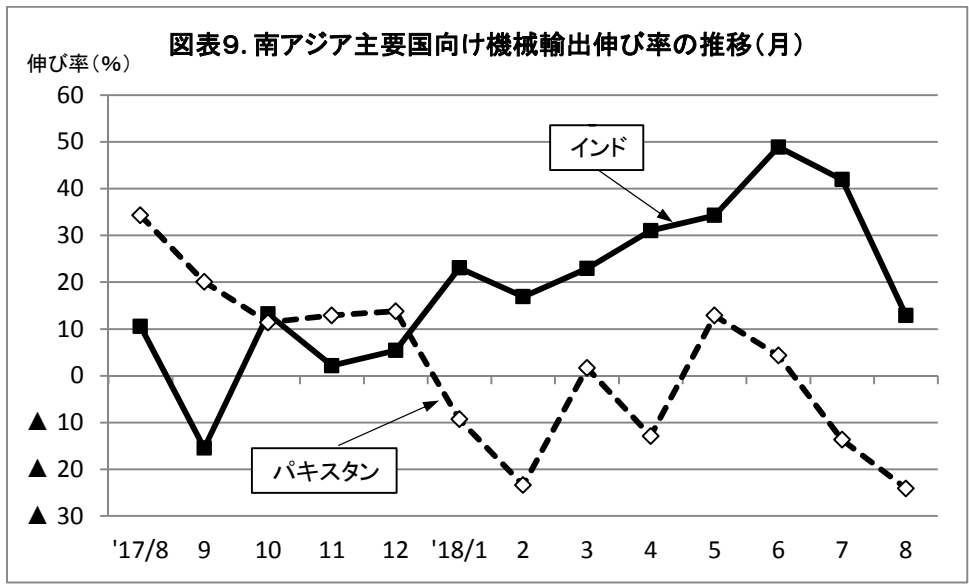
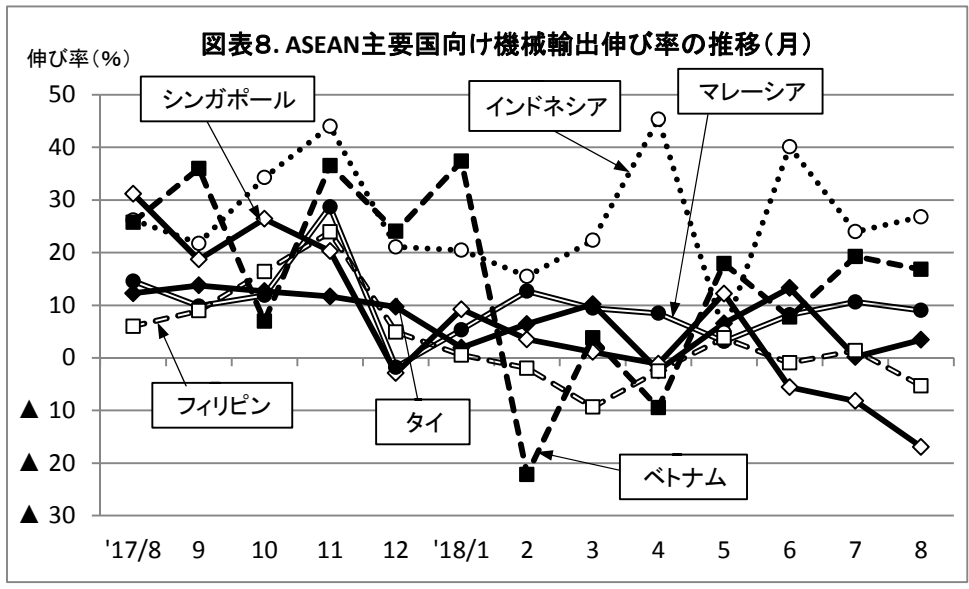
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2018/5		2018/6		2018/7		2018/8	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,208	▲ 7.2	2,335	▲ 12.6	2,200	▲ 12.3	2,028	▲ 15.6
台湾	1,885	4.4	2,046	2.8	2,050	3.5	2,121	13.7
ASEAN・南アジア								
タイ	1,481	6.6	1,784	13.3	1,662	0.2	1,588	3.4
シンガポール	1,004	12.2	902	▲ 5.6	882	▲ 8.2	953	▲ 16.9
インドネシア	686	4.8	957	40.1	980	24.0	917	26.8
マレーシア	632	3.1	715	8.2	745	10.6	698	9.0
フィリピン	654	3.8	687	▲ 1.0	692	1.4	627	▲ 5.3
ベトナム	709	17.9	778	7.7	793	19.2	845	16.8
インド	478	34.3	613	48.9	574	41.9	529	12.8
パキスタン	171	12.9	160	4.3	146	▲ 13.7	130	▲ 24.1
その他地域								
中南米	1,849	8.7	2,497	15.1	2,084	▲ 7.9	2,364	45.6
中近東	1,374	21.8	1,764	11.8	1,409	3.3	1,513	7.3
大洋州	1,181	2.1	1,379	0.5	1,374	▲ 5.3	1,205	2.2
ロシア東欧等	1,012	4.1	1,206	21.8	1,199	22.0	1,159	24.7
アフリカ	486	14.2	695	23.6	591	24.9	526	▲ 2.4

▲は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 15業種がプラス。うち産業機械等 6業種が二桁の増加～

1)業種別では、自動車(4.6%増)、産業機械(11.9%増)をはじめ 15業種がプラスとなり、前月に比べて1業種増加した。そのうち、産業機械(11.9%増)、重電気機械(13.9%増)、船舶(37.3%増)等 6業種が二桁以上の伸びとなり、機械全体では 7.4%増となった。

2)リーマンショック前の水準を超えたのは鉄道車両、航空機部品、軽機械等 12業種となった(7月は6業種)。他方、電子計算機、民生用電子機械が 40%台の低い水準にある。

図表 11 上位21業種の輸出額の動き (単位:億円、%)

2018/6				2018/7				2018/8				対08/8 比
業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	
自動車	15,560	2.4	34.1	自動車	14,876	▲ 1.5	34.4	自動車	14,022	4.6	32.7	0.96
産業機械	8,368	5.9	18.3	産業機械	7,975	3.9	18.5	産業機械	8,167	11.9	19.0	1.10
電子デバイス	3,551	8.9	7.8	電子デバイス	3,629	7.9	8.4	電子デバイス	3,645	3.8	8.5	0.84
軽電気機械	2,590	5.6	5.7	軽電気機械	2,507	4.4	5.8	軽電気機械	2,465	4.8	5.7	1.01
重電気機械	2,301	9.8	5.0	重電気機械	2,274	9.7	5.3	重電気機械	2,280	13.9	5.3	1.12
船舶	1,841	14.4	4.0	軽機械	1,741	5.5	4.0	軽機械	1,695	3.0	4.0	1.29
軽機械	1,833	5.0	4.0	民生用電子機械	1,516	7.6	3.5	民生用電子機械	1,514	5.1	3.5	0.46
民生用電子機械	1,517	10.1	3.3	建設機械	1,238	16.4	2.9	船舶	1,436	37.3	3.3	0.91
建設機械	1,402	18.9	3.1	光学機械	1,218	▲ 5.0	2.8	光学機械	1,365	▲ 5.1	3.2	1.02
光学機械	1,243	▲ 3.9	2.7	船舶	1,085	▲ 25.4	2.5	建設機械	1,222	28.4	2.8	0.86
工作機械	937	18.2	2.1	工作機械	851	4.6	2.0	工作機械	776	▲ 2.2	1.8	1.02
航空機部品	710	▲ 3.2	1.6	航空機部品	670	▲ 4.7	1.6	航空機部品	666	0.6	1.6	1.84
医療機械	529	12.3	1.2	通信機械	540	▲ 3.5	1.3	通信機械	587	▲ 6.9	1.4	0.70
通信機械	498	▲ 4.7	1.1	医療機械	481	3.7	1.1	医療機械	457	9.3	1.1	1.20
陸用内燃機関	477	20.6	1.0	電子計算機	455	1.4	1.1	電子計算機	433	▲ 9.6	1.0	0.43
ベアリング	445	1.7	1.0	ベアリング	430	0.8	1.0	陸用内燃機関	432	20.2	1.0	1.17
電子計算機	436	▲ 2.6	1.0	陸用内燃機関	421	5.6	1.0	ベアリング	401	3.3	0.9	1.14
農業機械	224	26.8	0.5	繊維機械	191	▲ 7.3	0.4	鉄道車両	227	241.4	0.5	2.55
繊維機械	193	▲ 19.8	0.4	農業機械	178	▲ 6.8	0.4	繊維機械	207	▲ 1.5	0.5	1.28
鉄道車両	168	16.1	0.4	鉄道車両	147	17.7	0.3	農業機械	163	▲ 4.5	0.4	0.87
産業車両	131	11.7	0.3	産業車両	137	12.3	0.3	産業車両	114	6.2	0.3	0.54
21業種合計	44,953		98.5	21業種合計	42,562		98.5	21業種合計	42,276		98.6	0.95

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～鉄道車両、原動力機械、船舶等が増加、通信機械部分品等が大幅減～

1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位 10 機種は、①EU、その他地域向け**鉄道車両**(約 3.4 倍)、②韓国・台湾、その他地域、ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(56.5%増)、③その他地域向け**船舶**(37.3%増)、④中国、韓国・台湾向け**半導体製造装置**(34.3%増)、⑤北米向け**建設機械**(28.4%増)、⑥北米、EU向け**陸用内燃機関**(20.2%増)、⑦ASEAN・南アジア、中国向け**磁気カード・ディスク等**(13.4%増)、⑧中国、北米向け**電気・電子計測器**(12.6%増)、⑨EU、北米、中国、韓国・台湾向け**電動機**(11.5%増)、⑩中国向け**その他の配電制御装置**(10.6%増)であった。

2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、通信機械部分品(29.6%減)、産業用ロボット(15.9%減)、金属加工機械(12.2%減)、デジカメ・ビデオ(11.6%減)等であった。

図表 12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2018/6			2018/7			2018/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	87	36.4	鉄道車両	147	17.7	鉄道車両	227	241.4
原動力機械	449	29.5	コンデンサー等部分品	972	17.2	原動力機械	474	56.5
農業機械	224	26.8	建設機械	1,238	16.4	船舶	1,436	37.3
陸用内燃機関	477	20.6	半導体製造装置	2,203	13.7	半導体製造装置	2,538	34.3
建設機械	1,402	18.9	電気・電子計測器	462	13.0	建設機械	1,222	28.4
工作機械	937	18.2	電池	528	12.4	陸用内燃機関	432	20.2
電気・電子計測器	503	16.2	産業車両	137	12.3	磁気カード・ディスク等	143	13.4
鉄道車両	168	16.1	試験・検査機	635	10.7	電気・電子計測器	439	12.6
コンデンサー等部分品	889	14.9	機種合計	6,322	*14.6%	電動機	180	11.5
電動機	203	14.8				その他の配電制御装置	1,055	10.6
機種合計	5,339	*11.7%				機種合計	8,146	*18.9%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円、%)

2018/6			2018/7			2018/8		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
産業用ロボット	185	▲ 20.9	船舶	1,085	▲ 25.4	通信機械部分品	246	▲ 29.6
通信機械部分品	165	▲ 19.9	通信機械部分品	209	▲ 19.8	産業用ロボット	162	▲ 15.9
繊維機械	193	▲ 19.8	産業用ロボット	185	▲ 12.6	金属加工機械	242	▲ 12.2
受信変換その他送受信機器	100	▲ 18.6	機種合計	1,479	* 3.4%	デジカメ・ビデオ	263	▲ 11.6
機種合計	642	* 1.4%				機種合計	913	* 2.1%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～航空機・部品等、携帯電話、白物家電等がプラス～

- 1) 8月の機械輸入伸び率は9.8%増と2ヶ月連続でプラスとなった。上位12機種のうち9機種がプラスとなり、そのうち航空機・部品等(86.1%増)、携帯電話(91.2%増)、白物家電(13.8%増)、半導体製造装置(51.9%増)の4機種が二桁のプラスであった。マイナスとなったのは、電子デバイス(4.1%減)、乗用車(7.1%減)、医療機械(2.0%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、航空機・部品等、携帯電話、白物家電、医療機械、受信変換その他送受信機器、配電機器、時計、TVの9機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の36%を占める中国(11.2%増)、ASEAN・南アジア(7.5%増)、EU(11.1%増)、北米(27.1%増)、韓国・台湾(7.5%減)、その他地域(3.8%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2018/6				2018/7				2018/8			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,247	▲ 3.6	11.2	電子デバイス	2,487	3.3	11.5	電子デバイス	2,270	▲ 4.1	10.8
電子計算機	1,560	▲ 24.6	7.8	電子計算機	1,792	▲ 10.3	8.3	電子計算機	1,819	1.6	8.7
航空機・部品等	1,240	8.9	6.2	航空機・部品等	1,609	40.3	7.5	航空機・部品等	1,739	86.1	8.3
自動車部品	1,217	3.8	6.1	自動車部品	1,273	6.0	5.9	自動車部品	1,147	0.9	5.5
乗用車	1,077	8.1	5.4	携帯電話	1,143	19.0	5.3	乗用車	1,089	▲ 7.1	5.2
携帯電話	995	▲ 5.4	5.0	乗用車	1,041	32.2	4.8	携帯電話	1,029	91.2	4.9
白物家電	894	8.9	4.4	白物家電	852	11.2	3.9	白物家電	734	13.8	3.5
医療機械	616	▲ 2.8	3.1	医療機械	658	3.2	3.1	医療機械	644	▲ 2.0	3.1
配電機器	603	4.2	3.0	配電機器	610	4.6	2.8	受信変換その他送受信	633	8.7	3.0
受信変換その他送受信	550	▲ 16.6	2.7	受信変換その他送受信	594	4.2	2.8	配電機器	598	5.8	2.9
半導体製造装置	455	13.0	2.3	その他の配電制御装置	417	▲ 5.0	1.9	半導体製造装置	578	51.9	2.8
その他の配電制御装置	391	▲ 8.2	1.9	コンデンサー等部分品	405	10.8	1.9	コンデンサー等部分品	404	6.9	1.9
12機種合計	11,845		59.0	12機種合計	12,881		59.7	12機種合計	12,684		60.6

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等